

第2回委員会における意見聴取事項

1. 井上委員から「集落住民に対する初期医療の提供について」意見聴取

- (1) 求められている地域初期医療サービスの水準・内容
- (2) 住民利便性の観点と病院経営の観点からみた診療所のサービス提供圏の適正な面積（時間距離）・人口規模
併せて、診療所の態勢のあり方—24時間、常設、巡回診療
- (3) 診療所に併設することによって住民利便性が高まると考えられる施設・サービス
- (4) 診療所への移動の実態と移動手段についての考え
- (5) へき地の救急連絡・搬送システムの現状と望ましいあり方
- (6) 高次医療機関との分担・連携の現状と望ましいあり方
- (7) 地域行政と地域医療との連携の現状と望ましいあり方

2. 吉田講師から「集落住民を支える移動手段の提供について」意見聴取

- (1) 地域特性別、人口構成別の必要なサービス水準、その実現のためにかかる費用はどれほどか。—具体的な運行事例の収支計算
地方バス、コミュニティバス、ダイヤモンドバス、乗り合いタクシー、過疎地有償運送、福祉有償運送、福祉限定タクシー、会費制無償運送など工夫された移動手段など、それぞれの移動手段がどのような地域特性（人口密度、高齢化率、地形など）にみあっているか。特に、高齢化率の高い小規模先端集落の生活を維持するために適切な移動手段は何か。
- (2) スクールバスの混乗、患者輸送バスの一般利用、福祉有償運送など特定目的の移動手段の一般利用の促進方法
- (3) 過疎地有償運送の普及方策
- (4) 貨物運送と旅客運送との連携可能性
- (5) 無償運送の活用可能性、その方策
- (6) シニアカー活用の可能性と、新たな乗り物開発・利用の可能性
- (7) 地方公共団体の取り組みの実態と望ましいあり方
- (8) 地域住民の参加・協力の実態と望ましいあり方